

【総合的な学習の時間】 第13回授業 指導案

芝浦工業大学柏中学高等学校 探究科

1. 単元名 Webページ制作

2. 本時の概要

本時は、「探究Day(小学生・中学生の部)」および「全国中学高校Webコンテスト」に向けて、各グループで本格的なWebページ制作を開始・進行する回である。前半では、日常の気づきを記録する「LIFEログ」をスクールタクトへ入力したのち、Webページの基本構成(トップページ、第1～4章、サイトマップ)について教員から説明を行う。トップページに盛り込むべき要素(作品紹介、経緯、思いなど)や、各章・節の構成目安、サイトマップにおける参考文献の重要性を提示する。後半のワークでは、翌週の「中間発表会」を見据え、本日中に最低限の枠組みである「トップページ+章ページ4つ」を完成させることを目標にグループワークを行う。また、探究Dayの企画・運営を担う中心メンバーの募集案内も併せて行う。

3. 本時の目標

- LIFEログを通じた継続的な自己省察(メタ認知能力):
日々の気づきを適切に記録し、これまでの探究活動や今後の計画に活かそうとする態度を養う。
- Webページの基本構成の理解と枠組みの構築(表現力・計画的実行力):
提示された構成目安を理解し、中間発表会に向けて「トップページ」と「章ページ」の基本的な枠組みを構築できる。
- チーム内での協働と進捗管理(協働する力):
グループ内で役割を分担し、目標とする進捗に向けて互いにコミュニケーションを取りながら効率的に制作を進めることができる。

4. 本時の準備・使用教材・参考文献

- 教員用提示資料:
 - 授業スライド 第13回
- 使用教材(副教材):
 - 岡本尚也(2019)『課題研究メソッド Start Book』新興出版社啓林館
- 参考文献:
 - 全国中学高校Webコンテスト-探究・協調学習の過程と成果をWebサイトに-『初めての方向け～Webサイトテンプレート | 全国中学高校Webコンテスト(旧ThinkQuestJAPAN)』
<https://webcon.japias.jp/template.html> 2026年7月28日

5. 本時の展開(100分:50分×2コマ / 中間休憩10分)

時間	学習活動	指導上の留意点・教員の支援
【1時限目】		
1分	① 本時の内容説明 スライドに基づき、本時の全体の流れ(1)LIFEログ、(2)Webページの構成、(3)今後の予定)を確認する。	本格的なWebページ制作に注力させる。
1分	② 「LIFEログ」の説明 ・スクールタクトの「総合的な学習/探究」から課題を開くよう指示する。 ・入力方法や注意点(タイトルを入力する、文字サイズは自動調整されるため変更しないなど)を確認する。	・文章の量として、まずは4～5行書くことを目標に設定する。 ・記述量が多く枠が足りない生徒には、「…」からページを複製して追加できることを伝える。
8分	③ 「LIFEログ」ワーク ・各自スクールタクトに日々の気づきを入力する。	入力状況を巡視しながら、手が止まっている生徒への声かけを行う。
5分	④ 「Webページの構成」および「今後の予定」説明 ・Webページの基本構成(①トップページ、②～⑤第1～4章、⑥サイトマップ)を説明する。 ・トップページの内容(紹介、構成、経緯等)や、章・節の数量目安(4つの章、各章に2～3の節)を提示する。 ・サイトマップには「参考文献」を必ず記載するよう指導し、WebコンテストHPの書き方を紹介する。 ・本日の目標として、中間発表に向けて本日中に「トップページ+章ページ4つ(章ページは空っぽでも可)」の枠組みを完成	・中間発表会には、最低限「トップページ+章ページ3～4つ」が作成されている状態で臨むイメージを持たせる。 ・Webページの技術的な質問がある生徒には、コンスパースにいる情報科教員に聞きに行くようにアナウンスする。

時間	学習活動	指導上の留意点・教員の支援
	させることを伝える。 ・次回の中間発表会(発表4分:トップページ・章ページ・今後の展望)の概要を共有する。 ・探究Dayの企画・運営中心メンバーの募集(Classroom「中学2年全体連絡」から申込)を案内する。	
35分	⑤ 作品制作(ワーク前半) ・各グループに分かれてWebページの作成を開始する。	・各教員(コーチ)は、担当する全チームの進捗状況の把握に努める。 ・役割分担が偏らず、全員が制作に関わっているか確認する。
10分	休み時間	
【2時限目】		
49分	⑥ 作品制作(ワーク後半) ・前半に引き続き、Webページの作成および枠組みの完成を進める。	・目標である「トップページ+章ページ4つ」の構築が順調に進んでいるか個別に確認し、遅れているチームを支援する。
1分	⑦ 次回の予告 ・次回の中間発表会に向けて、計画的に活動を進めるよう伝えて締めくくる。	・翌週の発表に向け、時間内でどこまで仕上げるべきか見通しを持たせる。